

新年のご挨拶



遠野市議会 議長
新田 勝見

明けましておめでとうございます。昨年、市民と議会との懇談会など議会に対する提言要望意見を賜り、誠にありがとうございました。

今年度は、遠野市第二次総合計画の初年度となり、新たな遠野市の発展を目指し課題に取り組みなければなりません。そのためには、議員自らの研鑽はもとより、常に市民目線で物事を考えていかななくてはなりません。市当局と議会は、立場は違っても市の発展と市民が安全で安心して暮らせるまちづくりのために真摯に議論をつくし、実りのある政策となるよう邁進していきます。

結びに、さらなる議会改革を目指し、魅力のある議会にしていきたいと思いますので、議会に対するご協力とご鞭撻をお願いするとともに、市民の皆様のご多幸とご健勝を祈念し、年頭の挨拶といたします。

12月定例会

平成27年12月定例会が、12月4日に招集され、11日までの8日間の会期で開かれました。今定例会では、一般質問に7人の議員が登壇し、市政を問いました。提案された平成27年度補正予算関係5件、条例の制定11件、その他4件の20議案の全議案を原案のとおり可決したほか、最終日に提案された議員発議による条例案1件と請願1件、意見書3件を可決しました。



議案第74号

反対討論

職員の仕事に伴って業務に従事させる任期付短時間勤務職員については、育児休業をとることができないとするものについて、任期付短時間勤務職員の任期は3年以内、特に必要な場合には5年以内となっている。その場合、最長5年近く採用された場合には、育児休業を認められない条件で就労するとも解される。この内容では、遠野市が掲げる「子育てするなら遠野」のわらすこプランの理念に逆行する内容と判断し、本条例の改正には反対する。

菊池 充 議員

賛成討論

職員が休む間に必要な人材を手配することは大切である。「育児休業をすることができない」という表現について、当局があらためて提案し直すという答

請願

請願第4号

TPP交渉の大筋合意についての対応に関する請願

（請願者）

花巻農業協同組合

代表理事組合長 高橋専太郎

採択

請願第5号

TPP交渉の情報公開とTPPからの撤退・調印中止を求める請願

（請願者）

遠野市農民組合

代表者 阿部 喜一

継続審査

議員発議

今定例会では、6件の議員発議案（条例案1件、意見書5件）が提出されました。このうち発議案第7号は、請願の採択を受けて提出されたものです。

◆発議案第5号

遠野市議会委員会条例の一部を改正する条例の制定について

常任委員会への所属について、条例では名称、定数、所管を定め、運用を容易にすることと所管の表記を改正しようとする。

意見書

◆発議案第6号

災害ボランティア割引制度の創設を求める意見書

自然災害等の被災地での救援から復興に至る過程では、多くの支援者、ボランティアの協力が欠かせない。大規模災害発生時に、被災地に赴く災害ボランティアに対して交通費や宿泊費を割り引く制度を創設することを強く要望するため意見書を提出する。

◆発議案第7号

TPP交渉の大筋合意についての対応に関する意見書

大筋合意を受け農林

◆発議案第8号

原発再稼働の中止を求める意見書

東京電力福島第一原発事故発生から、原因は十分には究明されず、事故の収束もおぼつかない状況。これまで2年間近く原発なしの電力供給には何ら問題がなく、福島第一原発事故の原因究明と事故の収束こそが最優先されるべき。発電所事故の収束と、被害の完全救済に全力をあげることを強く要望するために意見書を提出する。

反対討論

できれば再稼働も避けるべきと考えるが、現在の発電システムは火力発電に頼っている現状であり、大気汚染、地球温暖化の原因となっているのも事実。電

賛成討論

気料金も大きな負担。原発に係る代替エネルギーもなかなかないことから、反対せざるを得ない。

菊池 巳喜男 議員

ここ2年間原発は動かさず、その間の電力供給は努力によってなんとかしのいできた。確かに環境の問題があるが、自然エネルギーの代替に関する取り組みも積極的に行われている。原発により受けた損害は甚大でこんなコストのかかる発電所はない。原発から出た廃棄物の処理方法も決まっていない。この問題一つも解決しないのにさらに原発を再稼働することは許せるものではない。

反対討論

核兵器や弾道ミサイル、今やその技術は世界に拡散し日本の近くでも脅威が現実化しつつある。また、国際的なテロの脅威や海洋宇宙、サイバー空間におけるリスクも深刻化している。平和安全法制は、抑止力を高め、徹底した外交努力を重ね、戦争を起させない働きを高める戦争防止・平和安全のための法律。平和安全法制が正しく運用されることが重要であり、運用の過程をしっかりと監視し広い意味で民主的統制をしていくことが大切。

小松 大成 議員

◆発議案第9号

戦争法の採決強行に抗議し法の廃止を求める意見書

圧倒的多数の憲法学者等が、安全保障関連法案は「違憲」と断じたことは極めて重大で

弁を得たので賛成する。
荒川 栄悦 議員

反対討論

この労働基準法の改定案によって、長時間労働抑制策、年次有給休暇取得促進制度が強化される。また、高度プロフェッショナル制度の創設や医師による面接指導を受けさせなければならぬ健康確保措置も講じられる。このことにより、労働者は自分の健康面を確保しつつ、能力を發揮できる環境が整備されることから反対。

佐々木 大三郎 議員

※兵站（へいたん）活動：戦争で後方に位置して、前線の部隊のために、軍需品・食糧・馬などの供給・補充や後方連絡線の確保などを任務とする機関。

◆発議案第10号

労働基準法改定案の撤回を求める意見書

労働基準法改定案の撤回、「時間外労働限

これらのうち可決された発議案は、衆参両院議長、内閣総理大臣ほか関係大臣あてに意見書を送付しました。